

I 概要

【内政】

- 14日 FARCとの双方向停戦協議の開始についての検討

【外交】

- 6～7日 オルギン外相の韓国訪問
- 7～9日 オルギン外相の中国訪問
- 10～12日 オルギン外相のマレーシア訪問
- 26～27日 サントス大統領のフランス訪問
- 28～29日 サントス大統領のCELAC首脳会合出席（於：コスタリカ）

II 本文

【内政】

1 双方向停戦協議の開始についての検討

14日、サントス大統領は政府側和平交渉団に対し、出来るだけ早期に双方向の停戦につき協議を開始するよう指示した。これに対してFARCは、現在も国軍がFARCに対して攻撃を続けており、発言と状況が相反しているとして批判した。

なお9日、カケタ県において、2014年12月20日にFARCが無期限一方的停戦を宣言してから初となる国軍兵士の死亡事件が発生した。

【外交】

1 オルギン外相の韓国訪問

6～7日、オルギン外相は韓国を公式訪問した。7日、オルギン外相は尹・韓国外相と会談し、両国間の経済協力について協議したほか、太平洋同盟及びアジア中南米協力フォーラム（FEALAC）における経済協力についても協議した。オルギン外相はまた、対韓国FTAはコロンビア農村部に大きな利益をもたらす旨述べた。

2 オルギン外相の中国訪問

7～9日、オルギン外相は中国を公式訪問し、8～9日、第1回中国・ラテンアメリカ諸国共同体（CELAC）フォーラム閣僚級会合に出席し、コロンビアは中国との密接な経済協力関係を今後も維持する旨述べた。

9日、オルギン外相は王毅・中国外相と会談し、2月に予定されているコロンビア・中国外交関係樹立35周年関連行事の日程につき確認した。

3 オルギン外相のマレーシア訪問

10～12日、オルギン外相はマレーシアを公式訪問した。10～11日、オルギン外相はアジア諸国駐在のコロンビア大使と会談した。

12日、オルギン外相は、アニファ・アマン・マレーシア外相と会談し、貿易、農業分野及び観光分野での協力等につき協議した。

4 サントス大統領のフランス訪問

26～27日、サントス大統領は、オルギン外相、イラゴリ農業・地方開発相、カルデナス財務・公債相、パロディ教育相及びアルバレス＝コレア商工観光相等を同伴し、フランスを公式訪問した。

26日、サントス大統領はイダルゴ・パリ市長、ラルシェ元老院議長、ヴァルス首相と会談した。同日、サントス大統領は、オランド・フランス大統領とも会談し、貿易、農業、文化及び教育分野での協力につき協議した。首脳会談後の記者会見においてサントス大統領は、フランスの警察組織を参考に、コロンビア農村部の治安を維持したいとの構想を表明した。

5 サントス大統領及びオルギン外相のCELAC第3回首脳会合出席（於：コスタリカ）

28～29日、コスタリカにおいてラテンアメリカ・CELAC第3回首脳会合が開催され、サントス大統領及びオルギン外相が出席した。

28日、同国においてサントス大統領は、ルセフ・ブラジル大統領及びソリス・コスタリカ大統領と会談した。また、同日オルギン外相は、ビエラ・ブラジル外相と会談した。

（了）